

DRIP19 開催報告

2022年9月1日

理工学部教授 小椋 厚志

19th International Conference on Defects-Recognition, Imaging and Physics in Semiconductor (DRIP XIX)は2022年8月29日から9月1日の4日間に渡って開催された。本学会の特徴は全参加者が一部屋に集まってシングルセッションで、寝食も共にしつつ密なディスカッションを行うことであるが、コロナ禍の中では初回から続く良き伝統の踏襲は難しく、すべてオンラインでの開催となった。オンライン開催の運営拠点には、本学グローバルフロントの再生可能エネルギー研究インスティテュート事務所を利用した。事務所には、学会チェアやプログラムチェア等の中心メンバーに加えて、アルバイトの学生を合わせた10名弱が集って運営に当たった。本学情報メディア部や研究推進部の協力を得つつ、日米欧3カ国の便宜を考えて、日本時間15時から21時ころまでの口頭発表やポスターセッションを無事に完遂することができた。プログラム冊子の印刷費を補助頂いた国際連携部も加えた、本学の全面的なバックアップに心から感謝申し上げる。(次ページの図にあるように、プログラム冊子には本学のサポートへの謝辞がめいじろうと共に明記されている。)

困難な状況にも関わらず、12カ国から116名の参加を得て、2-3年ごとに世界三極を持ち回りで開催されてきたこれまでの学会とほぼ同じ規模の学会となった。研究報告はプレナリー講演2件および招待講演9件に加えて30件の口頭講演および44件のポスター講演が行われた。すべての講演を終えた後、2名の発表者にYoung Researcher Awardに授与され、次回は2年後をめぐりに米国(NY)で開催することが告げられて無事にすべての行事が終了した。



The poster for DRIP XIX features a blue background. At the top left is a circular logo with 'D', 'R', 'I', 'P' and a central circuit-like pattern. To its right, the text 'DRIP XIX' is written in a large, stylized font, followed by '19th International Conference on Defects - Recognition, Imaging and Physics in Semiconductors'. Below this, the dates 'August 29-September 1, 2022' and 'Online' are displayed. A central image shows a glowing globe with circuit patterns. At the bottom, there is a small circular logo for the Japan Society for the Promotion of Science (JSPS), followed by the text 'Under the Auspices of The 145th Committee of The Japan Society for the Promotion of Science (JSPS) In Cooperation with The Japan Society of Applied Physics'. At the very bottom, there is a small owl logo and the text 'Supported by International Collaboration Office, Meiji University'.